

## やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

### NASA gives all-clear from massive asteroid hitting Earth

Earth is safe from a huge asteroid for at least 100 years, ( 1 ) to NASA.

Apophis is a massive asteroid that will ( 2 ) past in 2029, 2036 and 2068. There were ( 3 ) it might hit Earth in 2029 or 2036, but NASA's analysts had previously ( 4 ) up these ( 5 ).

On March 26, NASA scientists said that new data from ( 6 ) has ( 7 ) out an impact in 2068 — with no risk for the next 100 years.

---

<ヒント>

- (1) NASA（アメリカ航空宇宙局）がこのニュースの情報提供者。
- (2) この小惑星は2029年、2036年、2068年に地球の近くを通ると予測されている。
- (3) 直前がwereのため、複数形になる点に注意。
- (4) 2029年、2036年に地球に衝突する可能性はNASAの研究者によって否定された。
- (5) (3)と同義。英文では同じ単語の繰り返しを避けることを覚えておこう。
- (6) NASAは何を使ってnew dataを得たのかな？
- (7) ( 7 ) outのセットで覚えよう。重要イディオム。

## やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

---

<解答>

- (1) according 副 「according to ~」で、「~によると」。
- (2) fly 動 飛ぶ。不規則動詞で活用形は fly-flew-flown
- (3) worries 名 心配事、懸念。
- (4) cleared 動 解決する。
- (5) concerns 名 心配事、懸念。
- (6) telescopes 名 望遠鏡。天体望遠鏡は astronomical telescope。
- (7) ruled 動 rule out で「除外する、排除する」。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

NASA (National Aeronautics and Space Administration = アメリカ航空宇宙局) の研究により、小惑星アポフィスは少なくとも今後 100 年は衝突リスクがないことが分かったというニュース。アポフィスは直径が 325 メートル前後と推定され、2029 年 4 月 13 日に、地球から 3 万 2000 キロの位置を通過すると予測されている。アジア、アフリカ、ヨーロッパなど東半球の一部で、天体望遠鏡や双眼鏡がなくても、肉眼で確認できる可能性があるという。地球に衝突する可能性のある小惑星には未発見のものもあり、日本でも岡山県の美星スペースガードセンターなどの研究センターが観測を行っている。